

平成 30 年度 シラバス

校長		教頭		
----	--	----	--	--

教科名:国語 科目名:国語総合 該当学年:1年 該当クラス:全クラス
 単位数:4単位 使用教科書:大修館書店「新編国語総合 改訂版」

1. 学習の到達目標等

学習の到達目標	学習の到達目標国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
使用教科書	使用教科書:大修館書店「新編国語総合 改訂版」

2 評価の観点の趣旨

a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く能力	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

月	単元名	主な単元の目標 (評価規準)	教材	領域(時間)			主な学習の目標 (評価規準)	評価の観点					評価方法等				
				A (話すこと・ 聞くこと)	B (書くこと)	C (読むこと)		態度・ 意欲・ 関心	力	話す・ 聞く能 力	書く 能力	読む 能力		知識・ 理解			
4	(現) 1 感動 する 心	・文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。〔学習指導要領C(読むこと)(1)ア〕 ・文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。〔学習指導要領C(読むこと)(1)エ〕 ・目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。〔学習指導要領A(話すこと・聞くこと)(1)イ〕	・ワンダフル・ブ ネット! ・メッセージ探しの 旅 ・対話からはじめよ う			1 1 2	・「センス・オブ・ワンダー」を心に持つことの大切さを理解する。 ・筆者の主張を読み取り、感受性を豊かにし、感動する心を育むことの大切さを理解する。 ・目的や場に応じて話したり聞き取ったりする。	○	○	○	◎	○	○	○	観察(発言・発表)、ノート、ワークシート		
5	(現) 2 小説 を楽 しむ	・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。〔学習指導要領C(読むこと)(1)ウ〕 ・幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。〔学習指導要領C(読むこと)(1)オ〕 ・課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。〔学習指導要領A(話すこと・聞くこと)(1)ウ〕	・子供たちの晩餐 ・バスに乗って ・感想をもとに話し 合おう			2 3 3	・現代小説を読み、作品の構成・展開を正しくとらえ、読書への意欲を高める。 ・現代小説を読み、登場人物の心理の変化を味わい、読書への意欲を高める。 ・小説の感想をもとに話し合い、読みの交流を図る。	○			◎	○	○	○	○	観察(発言・発表)、ノート、ワークシート、感想文	
5	(古) 1 古文 に親 しむ	・「古典」を学ぶ意義を知り、古文に親しむ。 ・文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。〔学習指導要領C(読むこと)(1)イ〕 ・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。〔学習指導要領C(読むこと)(1)ウ〕 ・言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)〕 ・文語のきまり、訓詁のきまりなどを理解すること。〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(イ)〕	・古典の魅力 ・ねずみの婿取り 古文を読むために① ・阿蘇の史、盗人に あひてのがること ・児のそら寝 古典の窓①			1 1 0 5 1 5 1 0 5	・古典と現代とのかわりや日本の古典芸能について知り、古典に親しむ態度を育てる。 ・古典の言葉に慣れ、正しく音読する。 ・古典を読むための知識を得る。 ・正しく音読し、的確に内容を読み取る。 ・古典と現代とのかわりを知り、古典に興味・関心を広げる。	○			◎	○	◎	◎	○	・学習材の読みとりの確認 ・音読の観察 ・観察・小テスト(→定期テスト) ・発表・ワークシート(→定期テスト)	
6	(古) 2 随筆 の楽 しみ	・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。〔学習指導要領C(読むこと)(1)ウ〕 ・国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア)〕	・枕草子 春はあけぼの なんてステキな 光景なの!ー春 はあけぼの にくきもの 古文を読むために② ・徒然草 公世の二位のせう とに 高名の木登り 奥山に猫またとい ふもの 古典の窓② 古文を読むために③			2 5 0 5 2 5 0 5 0 5	両教材を通して、 ・自然や人間に対する作者の見方、感じ方、考え方を理解する。 ・随筆の文章表現の特色について理解する。 ・古典の文法の基礎について理解を深める。 ・古語辞典の利用法を知る。 ・古典のことは遊びこについて知り、古典に興味・関心を広げる。 ・古典の文法の基礎について理解を深める。	○			◎	○	◎	○	○	・授業の取り組みの観察 ・ワークシート、小テスト(→定期テスト)	
6	(現) 3 日本 語を 考 え る	・文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。〔学習指導要領C(読むこと)(1)イ〕 ・文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。〔学習指導要領C(読むこと)(1)エ〕 ・相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。〔学習指導要領B(書くこと)(1)ア)〕	・人生は「動詞」で 変わる ・漢字の性格 ・手紙を書こう			2 5	・日本語における慣用的な表現に関心をもち、言葉が生き方のスタイルと結びつくという筆者の考えを理解する。 ・漢字の特色及び日本語における漢字の働きを知るとともに、漢字を身につけることの大切さを理解する。 ・手紙の書き方を理解し、相手や目的に応じて手紙を書く。	○	○		◎	○	○	○	○	観察(発言・発表)、ノート、ワークシート、自己評価、相互評価	
7	(現) 4 小説 を味 わう	・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。〔学習指導要領C(読むこと)(1)ウ〕 ・幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。〔学習指導要領C(読むこと)(1)オ〕 ・課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。〔学習指導要領A(話すこと・聞くこと)(1)ウ〕	・羅生門 ・参考『今昔物語 集』巻第二九第 一八 ・水かまきり ・司会者を立てて話 し合おう			4 1 3 4	・近代小説の名作に親しみ、場面や登場人物の心情の変化を表現に即して読み味わう。 ・作品を読み比べて、ものの見方や考え方を広げたり深めたりする。 ・登場人物の心理や性格を理解し、現代の短編小説の魅力を味わう。 ・司会者を決め、相手の立場や考えを尊重しながら建設的に話し合う。	○			◎	○	◎	○	○	○	観察(発言・発表)、ノート、ワークシート、感想文

7	(漢)	1 漢文の とびら	漢文を学ぶ意義を知り、漢字・漢文に対する興味を高める。 ・幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。〔学習指導要領C読むこと(1)イ〕 ・言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)〕 ・文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(イ)〕	・漢文のすすめ—未来を考えるヒント ・訓読のきまり ・訓読に親しむ 漢文を読むために①		2 2 2 1	・漢文に親しみ、漢文を学ぶ意義を理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・文章を読んで、ものの見方、考え方を広げたり深めたりする。 ・漢文を音読し、漢文に親しむ。 ・熟語の構造やなりたちについて関心をもち、理解を深める。	○ ○ ○ ○		◎ ○ ○ ○	◎ ○ ○ ○	・学習材の読みとりの確認 ・ノート等の観察・小テスト ・観察・ワークシート、ノート、小テスト(→定期テスト) ・音読の観察 ・観察・小テスト
9	(現)	5 文化と ことば	・文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。〔学習指導要領C読むこと(1)イ〕 ・文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。〔学習指導要領C読むこと(1)エ〕 ・論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。〔学習指導要領B書くこと(1)イ〕 ・言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)〕	・水の東西 ・季節の言葉と出会う ・調べたことを報告しよう		4 4 5	・論理の展開をつかみ、日本文化の特色に興味をもつ。 ・日本の季節を表す言葉の理解を通して、日本人の季節に対する感性について関心を深める。 ・テーマを決め、調べたことをわかりやすく書いてまとめる。	○ ○ ○		◎ ◎ ○	◎ ◎ ○	観察(発言・発表)、ノート、ワークシート 観察(発言・発表)、ノート、ワークシート 観察(発言・発表)、ノート、ワークシート、自己評価、相互評価
9	(現)	6 自然に 目を向 けて	・文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。〔学習指導要領C読むこと(1)イ〕 ・文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。〔学習指導要領C読むこと(1)エ〕 ・論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。〔学習指導要領B書くこと(1)イ〕	・ペンギンはなぜ一列になつて歩くのか? ・生きることと食べることの意味 ・資料をもとに文章を書こう		2 2 5	・筆者の考えを、叙述に即して的確に読み取り、自然に対する関心を広げる。 ・論理の展開をたどり、筆者の主張を読み取り、生命についての理解を深める。 ・統計資料を正確に読み取り、読み取った内容を的確な文章にまとめる。	○ ○ ○		◎ ◎ ◎	○ ○ ○	観察(発言・発表)、ノート、ワークシート 観察(発言・発表)、ノート、ワークシート 観察(発言・発表)、ノート、ワークシート、自己評価、相互評価
10	(古)	3 物語の 世界	・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。〔学習指導要領C読むこと(1)ウ〕 ・言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)〕	・伊勢物語 芥川 筒井筒 古典の窓③		2 3 0. 5	・登場人物の性格や心理の動きを読み取る。 ・源氏物語等、他の物語作品への関心を持つ。 ・現代とは異なる恋愛の過程や、当時の結婚制度についての理解と認識を深める。	○ ○ ○		◎ ○ ○	○ ○ ○	・授業の取り組みの観察 ・ワークシート、小テスト(→定期テスト)
10	(漢)	2 故事と 史話	・文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。〔学習指導要領C読むこと(1)イ〕 ・幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。〔学習指導要領C読むこと(1)オ〕 ・言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)〕	・故事 守株 蛇足 史話 鶏口牛後 漢文を読むために②		1 1 1. 5 0. 5	・文章を読んで、ものの見方、考え方を広げたり深めたりする。 ・漢文を音読し、漢文に親しむ。 ・中国の歴史物語を読み、出来事の経緯や登場人物の役割を的確に読み取る。 ・漢字の意味についての理解を深める。	○ ○ ○ ○		◎ ○ ◎ ○	○ ○ ○ ○	・学習材の読みとりの確認 ・ノート等の観察・小テスト ・観察・ワークシート、ノート、小テスト(→定期テスト) ・音読の観察 ・観察・小テスト
11	(現)	7 詩歌と の出会い	・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。〔学習指導要領C読むこと(1)ウ〕 ・幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。〔学習指導要領C読むこと(1)オ〕 ・相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。〔学習指導要領B書くこと(1)ア〕	・詩 はる 一つのメルヘン あどけない話 ・短歌 ・俳句 ・アンソロジーを作ろう		1 1 1 4	・詩・短歌・俳句に親しみ、それぞれの形式や表現の特色を理解する。 ・作品にうたわわしている情景や心情を表現に即して読み味わう。 ・作品を味わい、人生や自然に対する見方、感じ方、考え方を深める。 ・自分の選んだテーマにそって詩歌を集め(調べる学習をし)アンソロジーを作る。	○ ○ ○		◎ ◎ ◎	○ ○ ○	観察(発言・発表)、ノート、ワークシート、作文、音読・朗読 観察(発言・発表)、ノート、ワークシート、作文、音読・朗読 観察(発言・発表)、ノート、ワークシート、作文、音読・朗読 観察(発言・発表)、ノート、ワークシート、自己評価、相互評価
11	(現)	8 読書を 広げる	・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。〔学習指導要領C(読むこと)ウ〕 ・相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。〔学習指導要領B書くこと(1)ア〕	・夢十夜 ・鏡 ・本のPOPを作ろう		4 2 1 5	・象徴性の高い小説に取り組み、その寓意を読み深める。 ・現代小説に親しみ、場面や心情の変化を表現に即して読み味わう。 ・見る人をひきこめるような表現を工夫して、自分の好きな本のPOPを作る。	○ ○ ○		◎ ◎ ◎	○ ○ ○	観察(発言・発表)、ノート、ワークシート、感想文 観察(発言・発表)、ノート、ワークシート、感想文 観察(発言・発表)、ノート、ワークシート、自己評価、相互評価
12	(古)	4 軍記物 語の響 き	・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。〔学習指導要領C読むこと(1)ウ〕 ・言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア)〕	・平家物語 壇ノ浦の戦い 壇の浦の戦い—『平家物語』を読む 古文を読むために④		2. 5 0. 5	・登場人物の性格や心理の動きを読み取る。 ・源氏物語等、他の物語作品への関心を持つ。 ・古典の文法の基礎について理解を深める。	○ ○ ○		◎ ○ ◎	○ ○ ○	・授業の取り組みの観察 ・ワークシート、小テスト(→定期テスト)
12	(漢)	2 唐詩の しらべ	・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。〔学習指導要領C読むこと(1)ウ〕 ・国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア)〕	・春明暁を覚えず ・自然のうた 江雪 山行 ・友情のうた 秋夜寄丘二十二員外 送元二使安西 ・憂愁のうた 静夜思 涼州詞 春望 漢文を読むために③		1 1. 5 1. 5 1. 5 0. 5	教材すべてに共通して、 ・唐詩の詩を繰り返し音読し、漢文特有の口調に習熟する。 ・唐詩の詩の名作に親しみ、作者の心情や描かれた情景を想像し味わう。 ・漢詩の形式や表現について理解する。	○ ○ ○		○ ○ ○	○ ○ ○	・学習材の読みとりの確認 ・ノート等の観察・小テスト ・観察・ワークシート、ノート ・音読の観察 ・観察・小テスト(→定期テスト) ・観察・ワークシート、ノート ・音読の観察 ・観察・小テスト(→定期テスト)
1	(現)	9 いのち と平和	・文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。〔学習指導要領C読むこと(1)イ〕 ・文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。〔学習指導要領C読むこと(1)エ〕 ・話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。〔学習指導要領A話すこと・聞くこと(1)ア〕	・心が生まれた惑星 ・コルベ神父 ・崖 ・自分の考えを話そう		1 1 1 3	・叙述に即して文章の内容を的確に読み取り、人間の心についての理解を深める。 ・構成や叙述の特色に注意し、人物の生き方、筆者の関心の持ち方について理解を深める。 ・作品にうたわわしている情景や心情を表現に即して読み味わう。 ・構成を考え、伝えたいことがわかりやすく伝わるような短いスピーチをする。	○ ○ ○		◎ ◎ ◎	○ ○ ○	観察(発言・発表)、ノート、ワークシート 観察(発言・発表)、ノート、ワークシート 観察(発言・発表)、ノート、ワークシート 観察(発言・発表)、ノート、ワークシート、自己評価、相互評価
1	(現)	10 社会に 生きる	・相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。〔学習指導要領B書くこと(1)ア〕 ・文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。〔学習指導要領C読むこと(1)イ〕 ・文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。〔学習指導要領C読むこと(1)エ〕 ・論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。〔学習指導要領B書くこと(1)イ〕	・何のために「働く」のか ・政治の本質 ・意見を論理的にまとめよう		2 2 4	・筆者の考えを叙述に即して的確に読み取り、働くことについての理解を深める。 ・論理の展開をたどり、筆者の主張をつかむとともに、政治に対する理解を深める。 ・他の人を説得できるように、自分の意見を論理的にまとめる。	○ ○ ○		◎ ◎ ◎	○ ○ ○	観察(発言・発表)、ノート、ワークシート 観察(発言・発表)、ノート、ワークシート 観察(発言・発表)、ノート、ワークシート、自己評価、相互評価

2	(古) 5 和歌 と 俳 諧 の し ら べ	<ul style="list-style-type: none"> ・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。〔学習指導要領C読むこと(1)ウ〕 ・国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア)〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・百人一首古文を読むために⑤ ・奥の細道 旅立ち 平泉 立石寺 古典の窓④ 		2. 5 0. 5 3 0. 5	<ul style="list-style-type: none"> 教材すべてに共通して、 ・古典詩歌を繰り返し音読し、それらの韻律や内容を理解する。 ・和歌や俳諧に親しみ、作者の心情や描かれた情景を想像し味わう。 ・日本人の自然の感じ方を理解する。 ・和歌の修辭を理解する。 	○ ○ ○ ○ ○ ○		◎ ◎ ◎ ○ ◎	○ ○ ○ ○ ◎	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組みの観察 ・ワークシート、小テスト(→定期テスト)
2	(漢) 3 孔子 の こ と ば	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。〔学習指導要領C読むこと(1)オ〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・論語 ・学問のすすめ ・いかに生きるか 漢文を読むために④ 		1 1. 5 1. 5 0. 5	<ul style="list-style-type: none"> 教材すべてに共通して、 ・孔子の学問や人の生き方に対する考え方を理解する。 ・漢字の成り立ちについて理解する。 	○ ○ ○ ○		◎ ○ ◎	○ ○ ◎	<ul style="list-style-type: none"> ・学習材の読みとりの確認 ・ノート等の観察・小テスト ・観察・ワークシート、ノート ・音読の観察 ・観察・小テスト(→定期テスト)
3	(漢) 4 物語 へ の い ざ な い	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。〔学習指導要領C読むこと(1)イ〕 ・幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。〔学習指導要領C読むこと(1)オ〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・人面桃花 漢文を読むために⑤ 		3 0. 5	<ul style="list-style-type: none"> ・日本にも影響を与えた中国唐代の物語を読み、そこに描かれた生き生きとした人物の姿を読み取る。 ・漢字の読み方について理解する。 	○ ○		◎ ○	○ ○	<ul style="list-style-type: none"> ・学習材の読みとりの確認 ・ノート等の観察・小テスト ・観察・ワークシート、ノート ・音読の観察 ・観察・小テスト(→定期テスト)